

総務委員会の知事への意思確認の要旨（H16.12.20 14：00 から）

（宮沢委員長）

委員会の総意として伝える。

今日は、知事が議長への文書で議案提出を約束した最終日となっている。知事は、山口村の合併議案をいつ出すのか、何時ごろ出すのか、あるいは出すのか出さないのかを明確にお答えいただきたい。

（知事）

朝方、山口村と中津川市の方々が来た時にも話したが、長野県民として信濃の国を歌いたい人を最後の一人まで守るのが、私の義務。

合併特例債が伴う合併でなければ、山口村民として長野県に残りたいと山口村長がおっしゃった。根羽村、小谷村、栄村の県境の村はいずれも交付税の減額等、同様の苦しみを味わっている。ぜひ合併を考え直して欲しいと申し上げた。

総務部長の小林から総務委員会に文書を送ったが、これが私の現在の考え。何時ごろ議案を出すかとか、そういう段階には至っていない。なぜ、止まっていただけなのかと思っていたが、図らずも山口村長が純粋な気持ちを吐露してくれた。財政上の問題で合併をお考えになられたというなら、本県には同じように交付税の減に苦しむ村があるが、これらに対しては県として最善に近い努力をさせていただく用意がある。

（宮沢委員長）

9月の経過、議長あての文書もあるが。

（知事）

私としては、これは長野県全体の姿の問題であり、県民の意向を把握した上で12月議会に提案しようと考えたが、議会の過半数の賛同を得られなかった。

（宮沢委員長）

知事が議案を出さないということによいか。これはシステム上の進め方の問題だけの確認。知事の想いの問題はいい。

（知事）

今朝方は山口村長の合併の方向へ進むきっかけを聞くに及んで本県の中に住み続けたい人に出て行けということは県民を守るべき立場の知事として言うこと難しい。

優柔不断といわれるかもしれないが、未だに議案を提出する段階には至っていない。

（宮沢委員長）

越県合併に賛成か反対かを聞いているわけではない。意思決定の場は議会であると法的には解釈されている。

（知事）

知事機関説というようなものがあるが、私はこのような説の立場には立っていない。知事が議案を提出する場合、その議案に自信をもって出すべきである。しなの鉄道の支援をはじめ、SOの6億円と同様、自信をもって議会にお認めいただきたいというもの。

(宮沢委員長)

知事は議案を出すことについて葛藤しているのか、それとも合併の結論について葛藤しているのか。いつまで結論をお待ちしたらよいのか。

(知事)

越県合併は県境が変わるものであり、歴史的審判に耐えうるものでなければならない。長野県民であり続けたい人を無碍にはできない。年度をまたがっても考えることも必要、今日はまだ議案を提出する段階に至っていない。

(小林委員)

先ほどから村長の言葉を出しているが、それだけ村民は苦悩して出した結果であり、それを尊重すべし。議案を提出しないということではいいか。

(宮沢委員長)

先ほど、年度を越えても議案を出さないと言っている。

(知事)

そんなことは言っていない。

(山口村長入室)

(宮沢委員長)

村長さんね、平成の大合併ということで、特例債もあるので今回合併をというようなお話が知事からあったんですが、そのような趣旨でご発言になったんですか。

(山口村長)

いや、違いますよ。僕は、平成の大合併というものがね、なければこういう市町村合併というものがね、そんなふうにはならなかったと、山口村も今のままあり続けたいと、こういうことをお話しました。特例債のことについては、僕はしゃべっておりません。

(宮沢委員長)

その趣旨は。

(山口村長)

趣旨は、今度の平成の合併ね、各市町村が取り組んだる合併は、こういう問題がなければ、山口村も今のままあり続けたいと、いうことになると言ったんですよ。ですから、合併を知事さんの言うとおりに私は進めてきましたと。言うとおりにというか、山口村の考え方を住民と議論しながらね、進めてきたと。

(宮沢委員長)

プロセスですね。

(山口村長)

そうです。

(石田議員ほか)

知事、言ってることがちょっと違うなあ。

(山口村長)

特例債のことは、私は言ってはおりませんから。

(宮沢委員長)

知事いいですか、知事と今お話しいただいたところですが、これを一つの機会ということですね。

(山口村長)

合併すれば、今の合併特例法に基づいて合併が今進められようとしているわけですから、当然、合併特例債ということだってこれはどこでも考えながら新しいまちづくりの財源のために、まちづくりのために特例債を活用していこうということになっておるんですよ、これは。

(宮沢委員長)

それがなければ、合併しなかったのかという、それだったら考えなければいけないと、今知事は言われているわけですよ。

(山口村長)

当然、今の合併特例法に基づいての合併の、国が推進しとるね……。はい。

(宮沢委員長)

そういうことですか。機会ということですか。

(山口村長)

そういうことですよ、はい。

(小林委員ほか)

ちょっと趣旨が違うね。

(宮沢委員長)

知事が言っていることとちょっと趣旨が違う感じがしますけどね。

まあ、そんなことで、総務委員会の総意としてここに承りました。知事はまだ出される決意をしていらっしゃるかと、こういうことだけ確認をさせていただいたということで、皆様よろしゅうございますか。その後のことについては、議長、副議長に報告させていただいて、お任せしたと思います。